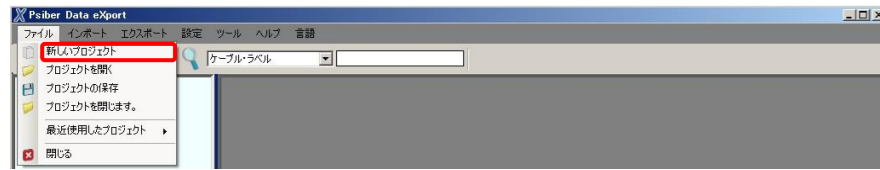


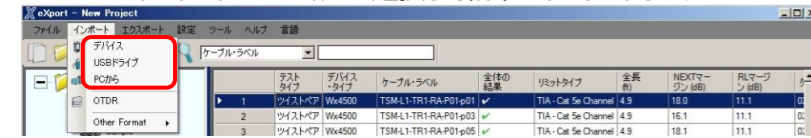
# 5

## eXportソフトウェアの使用

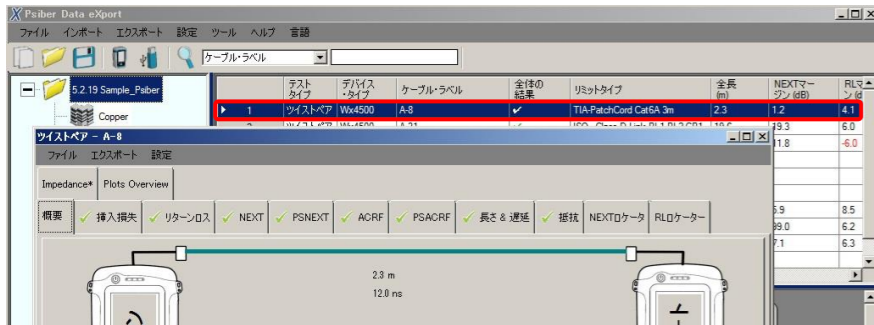
1. eXportソフトウェアを起動させます。
2. ファイル → 新しいプロジェクトを選択してプロジェクトを作成します。



3. セーブされた結果をeXportにインポートします。
  - ・WX4500本体：インポート → デバイスを選択して結果をインポートします。
  - ・USB：インポート → USBドライブを選択して結果をインポートします。
  - ・PC：インポート → PCからを選択して結果をインポートします。



4. 結果リストをダブルクリックすると結果の詳細が別画面で表示されます。



## リスト ベイスド試験

### 階層形式ラベルリストの作成

ラベルリスト生成は、ケーブル認証を行う前にカスタマイズ可能な階層形式(ビル名→フロア→テレコムルーム→ラック→パネル→ポート)のラベルを作成します。それにより、試験後のラベル作成操作を減らすことが可能です。連続していない試験のとき、本体にインポートされた定義前のラベルは二重のテストを防止します。

### ラベルリストの作成

1. eXportを起動させ、ツール → ラベルリスト作成をクリックします。
2. それぞれのフィールドに開始No.と終了No.を入力します。
3. 階層を使用しない場合は、チェックを外します。
4. 保存ボタンをクリックしてラベルを保存します。
5. PCにUSBメモリをセットして、USBへ出力をクリックします。



# 6

## ラベルリストのロード

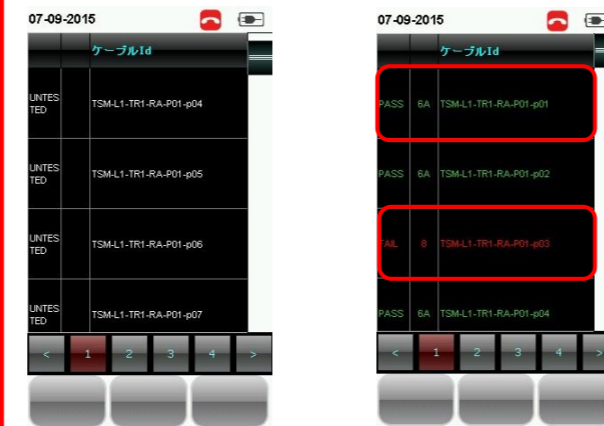
1. ワイヤーエキスパートのローカルユニットにUSBメモリを接続します。
2. ラベルリストを選択します。
3. ロードするラベルを選択して、ラベルファイルのコピーを選択します。自動的にロードされます。



4. SETUP → プロジェクト設定 → ラベル名の候補 → リストベースドテストを選択します。
5. インポートするLBTファイルを選択します。自動的にインポートされます。



6. リストからラベルを選択してAUTOTESTを実行します。試験終了後、PASS(緑)は合格を表し、



# WireXpert

## クイック・スタート・ガイド



### 構成

- 本体 (ローカル/リモート機)
- CAT6Aチャンネル・アダプタ
- CAT6Aパーマネント・リンク・アダプタ
- USBメモリ
- ヘッドセット
- ACアダプタ
- ソフトケース
- 校正証明書

ワイヤーエキスパートWX4500のキットにはCAT6Aまでのケーブル認証試験に必要なチャンネルアダプタ、パーマネントリンクアダプタが含まれています。オプションでCLASS FAアダプタ、ファイバテスト用アダプタも別途お求め頂けます。

ローカル機からでもリモート機からでもテストのスタート、テスト結果の保存が行えますが、テスト結果はローカル機のみ保存されます。

# 2 | はじめに

## 電源のオンとオフ

機器上部のボタンで電源のOn/Offが行えます。

## ローカル機とリモート機

ローカル機とリモート機は見た目が同じですが、テスト設定、テスト結果のグラフはローカルユニットでのみ表示されます。テストのスタート、テスト結果の保存は両機器で行えます。ローカル機とリモート機の判別は画面背景色で判別できます。



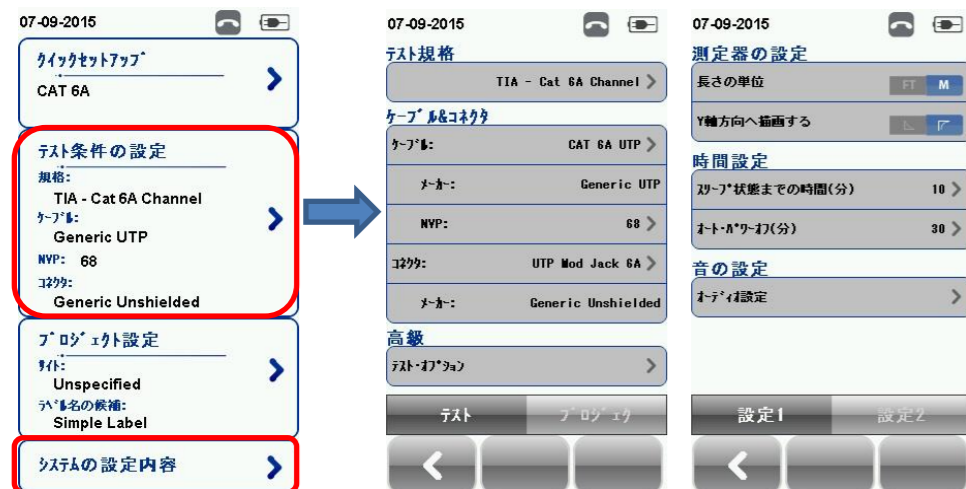
## パーマnent・リンク・アダプタ

パーマnentリンクアダプタはアダプタ本体とリンクコードで構成されていますが、出荷時にはアダプタ本体とリンクコードは接続されていません。測定を行う時にはリンクコードをアダプタ本体に接続して下さい。



# セットアップ

WireXpertのほとんどの設定はテスト条件の設定もしくはシステムの設定内容のどちらかのページで変更できます。



# 3 | オートテスト設定



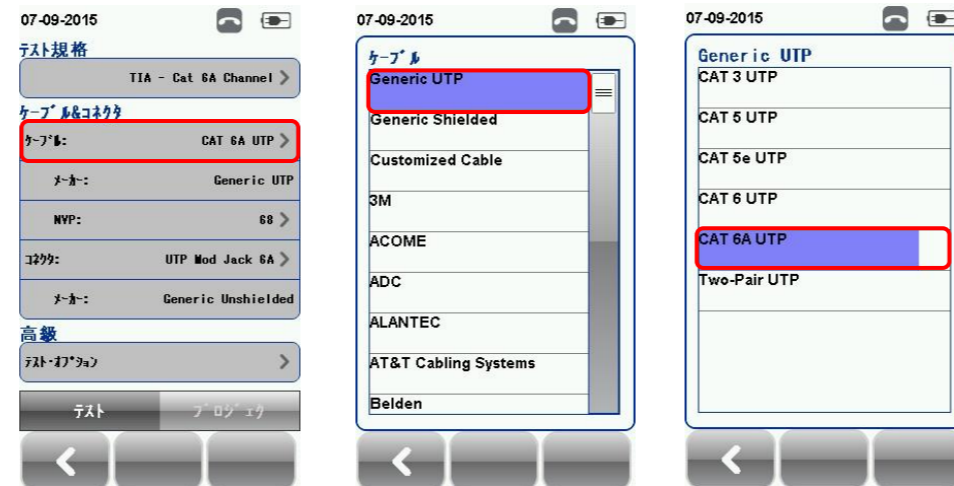
## SETUP 規格設定

WireXpertでチャンネルテスト、パーマnentリンクテストを行う為に適切な設定を行って下さい。オートテストを行う前にWireXpertでは、規格、テスト構成の設定が必要です。SETUP → テスト条件の設定 → テスト規格を選択して規格を設定するか、または、クイックセットアップで設定を行って下さい。



## ケーブルメーカー選択

SETUP → テスト条件の設定 → ケーブルを選択して、試験するケーブルを設定します。



# 4 | オートテスト開始

## AUTOTEST オートテストと結果保存

機器のセットアップが終わったら、機器下部の**AUTO TEST**を押して測定を開始して下さい。テストが終了したら機器の画面にPass/Failの判定と測定結果が表示されます。各測定結果を詳しく見るには、その項目をタップして下さい。測定結果はローカル/リモートの両機器で行えます。ただし、保存したデータはローカル機のみ保存されます。



## テスト結果のエクスポート

ローカル機のUSBポートにUSBメモリを挿入して下さい。自動でUSBメモリ接続済みと言う画面に切り替わります。テスト結果をUSBメモリにコピーします。を選択し保存したデータをUSBメモリにコピーして下さい。

## eXportソフトウェア

eXportはWireXpertで測定したテスト結果を保存、管理、レポート出力する為の専用ソフトウェアです。テスト結果をUSBメモリに保存して、PCに接続し、ツールメニューからアップロードして下さい。eXportの詳しい情報、使用方法などを知りたい場合は、eXport Installation and User Manualを参照して下さい。

eXportの最新バージョンは下記、PsiberData社ホームページからダウンロードして下さい。

URL: <http://www.psiberdata.com/>